

関連専門業務 ③産学連携支援業務

初級

業績指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

担当者として対応した。

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で実行した実績／経験を有する(結果への寄与度 10%以上)。

- 1. 所属大学の研究シーズのデータベースを構築し、分野ごとにアクティビティの高い研究者リストを作成し、異分野融合プロジェクト立ち上げの準備を行った。
- 2. 所属組織・研究者の意向を受けて、外部資金、プロジェクトやコンソーシアムの立ち上げ等に関する情報を整理し、学外の関係者に説明を行った。
- 3. 複数企業との共同研究のための契約等の調整を行い、契約締結につながった。
- 4. 自治体関係者と連携をとり、地方自治体の政策動向等につき、関係企業と情報共有の場を設定した。
- 5. 学内外の関係者の予定を調整し、訪問、又は、会議等を開催することによりプロジェクトやコンソーシアムへの参加交渉を行った。
- 6. 学外関係者からの問い合わせに対応し、必要に応じて執行部の方針等の確認を行った。
- 7. 学外関係者との共同研究やプロジェクトへの参加に際して必要な NDA, MTA, 協力協定等の契約事項, 方針決定までのスケジュール, 研究成果や知財が生じた場合の扱いと予算配分等の確認を行った。

③重要性

④学内外貢献

以下のいずれかに相当する実績／経験を有する。

- 1. 関係者からの質問に対して適切な回答／助言を行った。
- 2. 自己の業務内容のマニュアル化を行った。

⑤その他

業務遂行能力指標

以下の条件の能力を有する。

①事業

所属大学における自己の業務の位置づけを理解している。

②知識

- 1. 外部資金申請の枠組みの流れ, 公募情報源, 外部資金による事業の背景(科学技術政策, 省庁・総合科学技術会議等の審議会・委員会情報等)の初歩的な事項を理解している。
- 2. 公募要領等に記載される外部資金に関わる遵守すべき法令(例:補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律(補助金適正化法)と関連する政令, 省令等), ガイドライン, 学内規則, 契約内容等の初歩的な事項を理解している。
- 3. 特定分野の専門知識を有し, 研究プロジェクトに関わる科学技術の初歩的な事項を理解している。又は, 調査し, 把握することができる。
- 4. プロジェクトに関連する大学, 研究コミュニティ, 産業界, 社会の動向の初歩的な事項を理解している。又は, 調査し, 把握することができる。
- 5. 研究の適正な実施に関する諸規定等(コンプライアンス, 科学者・生命倫理, 安全衛生, 利益相反等)を担当者とコミュニケーションができる程度に理解している。
- 6. 研究成果に係る取り扱い事項(材料提供, 秘密保持, 知財保護, 個人情報保護(匿名化)等)を担当者とコミュニケーションができる程度に理解している。

7. 学外研究者を受け入れる際のスキーム, 規定, 契約事項等を理解している。

8. 国や自治体の政策動向の初歩的な事項を理解している。

③実務

1. 企業との連携支援業務に関する実務(例:企業との組織的連携, 産学官連携コンソーシアム, 地域振興を含めた地域産業界との連携等)の初歩的な事項(例:実務全体の20~30%程度)を理解している。

2. 前記1.に関連する業務上の課題を発見し, 上司の指導の下でその課題を解決することができる。

3. 企業との交渉, 調整等の作業の進め方等を初歩的なレベルで理解している。

4. 上司の指導の下に必要な資料作成ができる。

5. 全体のスケジュールと進捗状況を把握して内外関係者と共有し, 上司の指導の下で期日内に業務を終わらせるよう, 内外関係者の協力を得ることができる。

6. 研究者, あるいは研究コミュニティとトラブルがあった場合, 上級・中級 URA や関係者に報告・相談し, 適切な対処ができる。

④語学

産学連携に関する英文情報や関連する技術分野の論文の概要を最低限の範囲で理解することができる。

⑤対人

1. 関係者(例:学内関係者, FA, 企業)から円滑に情報収集ができる。

2. 関係者の説明(例:規則, 実施計画等)を理解することができる。

3. 関係者の信頼を得て, 連携し, 協働できる。

4. 関係者との間で円滑なコミュニケーションをとることができる。

⑥その他

複数の業務に適切な優先順位をつけ, 限られた時間を有効に活用し業務を遂行できる。

関連専門業務 ③産学連携支援業務

中級

業績指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

主担当として対応した。

②複雑性

以下のいくつかを自律的に、複数回実行した実績／経験を有する(結果への寄与度 30%以上)。

- 1. 所属大学の研究シーズのデータベースを構築し、分野ごとにアクティビティの高い研究者リストを作成し、異分野融合プロジェクト立ち上げの準備を行った。
- 2. 所属組織・研究者の意向を受けて、外部資金、プロジェクトやコンソーシアムの立ち上げ等に関する情報を整理し、学外の関係者に説明を行った。
- 3. 大学、企業、FA、関連省庁等からキーマンとなるメンバーを招集し、国の技術施策・動向、シーズ・ニーズのマッチング等情報共有を行い、プロジェクトの母体となる産学連携のためのコミュニティ作りを行った。
- 4. 複数企業との共同研究のための契約等の調整を行い、契約締結につながった。
- 5. 共同研究先企業の調査やテーマの設定調整を通じて、共同研究の妥当性を評価し、研究者に進言した。
- 6. 自治体関係者と連携をとり、地方自治体の政策動向等につき、関係企業と情報共有の場を設定した。
- 7. 海外の地方自治体や産学官連携クラスター等地域レベルの連携を推進し、当該プロジェクトと海外の地方自治体や産学官クラスター間の研究開発動向に関する情報共有を行った。
- 8. 学内外の関係者の予定を調整し、訪問、又、会議等を開催することによりプロジェクトやコンソーシアムへの参加交渉を行った。
- 9. 学外関係者からの問い合わせに対応し、必要に応じて執行部の方針等の確認を行った。
- 10. 学外関係者との共同研究やプロジェクトへの参加に際して必要な NDA、MTA、協力協定等の契約事項、方針決定までのスケジュール、研究成果や知財が生じた場合の扱いと予算配分等の確認を行った。
- 11. プロジェクトの企画について、国、FA との調整を行った。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

- 1. 学内外の関係者間との折衝活動の結果、合意形成が進み、対応方針の共有が円滑に進み、調整業務が短縮された。
- 2. 多くの関係者が関与する企画が建設的に進み、申請の質が向上した。
- 3. 多数の企業や大学からなるコンソーシアムをベースとした大型プロジェクトを導入した。
- 4. 国や自治体と連携して、産学連携研究棟の設置に際して、共同事業として補助金を交付されることとなった。

④学内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

- 1. 関係者からの質問に対して適切な回答／助言を行った。
- 2. 自治体、企業等と連携・協働し、学外ネットワーク構築に貢献した。
- 3. 経営者協議会等地域産業会の委員会のオブザーバーとして助言／提言を行った。
- 4. 後輩(例:初級レベル)に対して産学連携に関する助言と、OJTを行った。

⑤その他

業務遂行能力指標

以下の条件の能力を有する。

①事業

- 1. 所属大学における自己の業務の位置づけを理解しており、関係者に説明できる。

□2. 担当業務に関連する主要なプロジェクトの方針(ポリシー)を理解している。

②知識

- 1. 外部資金申請の枠組みの流れ, 公募情報源, 外部資金による事業の背景(科学技術政策, 省庁・総合科学技術会議等の審議会・委員会情報等)を理解している。
- 2. 公募要領等に記載される外部資金に関わる遵守すべき法令(例:補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律(補助金適正化法)と関連する政令, 省令等), ガイドライン, 学内規則, 契約内容等を理解している。
- 3. 特定分野の専門知識を有し, 研究プロジェクトに関わる科学技術の概要を理解している。又は, 調査し, 把握することができる。
- 4. プロジェクトに関連する大学, 研究コミュニティ, 産業界, 社会の動向を概略理解している。又は, 調査し, 把握することができる。
- 5. 研究の適正な実施に関する諸規定等(コンプライアンス, 科学者・生命倫理, 安全衛生, 利益相反等)を理解している。
- 6. 研究成果に係る取り扱い事項(材料提供, 秘密保持, 知財保護, 個人情報保護(匿名化)等)を理解している。
- 7. 学外研究者を受け入れる際のスキーム, 規定, 契約事項等を理解している。
- 8. 国や自治体の政策動向を理解している。

③実務

- 1. 企業との連携支援業務に関する実務(例:企業との組織的連携, 産学官連携コンソーシアム, 地域振興を含めた地域産業界との連携等)の専門的事項(例:実務全体の60~70%程度)を理解している。
- 2. 前記1.に関連する業務上の課題を発見し, 解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。
- 3. 企業との交渉, 調整等の作業の進め方等を理解している。
- 4. 企業ごとに必要な情報を抽出・整理して資料作成や説明を行うことができ, 会議や打合せを効率良く進めることができる。
- 5. 相手方担当者の業務を理解し, 両者の業務の位置づけ, 重要性を共有できる。
- 6. 共同研究申請企業の評価・業績等について, ある程度の見極めができる。
- 7. 全体のスケジュールと進捗状況を把握して内外関係者と共有し, 期日内に業務を終わらせられるよう, 内外関係者の協力を得ることができる。
- 8. 研究者, あるいは研究コミュニティとトラブルがあった場合, 上級 URA や関係者に報告・相談し, 適切な対処ができる。

④語学

- 1. 産学連携に関する英文情報や関連する技術分野の論文の概要を理解することができる。
- 2. 各種問い合わせや連携交渉について, メールでやり取りができる。

⑤対人

- 1. 関係者(例:学内関係者, FA, 企業)から円滑に情報収集ができる。
- 2. 関係者の説明(例:規則, 実施計画等)を理解することができる。
- 3. 関係者の信頼を得て, 連携し, 協働できる。
- 4. 相手先(海外を含む)機関の文化や慣習等を理解し, 対応することができる。
- 5. 関係者との間で円滑なコミュニケーションをとることができる。

⑥その他

- 複数の業務に適切な優先順位をつけ, 限られた時間を有効に活用し業務を遂行できる。

関連専門業務 ③産学連携支援業務

上級

業績指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

統括責任者として対応した。

②複雑性

以下のいくつかの産学連携支援業務に関する課題について、多角的な視点で様々な解決策の提案を複数回実行した実績／経験を有する(結果への寄与度 50%以上)。

- 1. 所属大学の研究シーズのデータベースを初級・中級 URA に指示して構築し、分野ごとにアクティビティの高い研究者リストを作成し、異分野融合プロジェクト立ち上げの準備を行った。
- 2. 所属組織・研究者の意向を受けて、外部資金、プロジェクトやコンソーシアムの立ち上げ等に関する情報を整理し、学外の関係者に説明を行った。
- 3. 大学、企業、FA、関連省庁等からキーマンとなるメンバーを招集し、国の技術施策・動向、シーズ・ニーズのマッチング等情報共有を行い、プロジェクトの母体となる産学連携のためのコミュニティ作りを行った。
- 4. 複数企業との共同研究のための契約等の調整を行い、契約締結につながった。
- 5. 共同研究先企業の調査やテーマの設定調整を通じて、共同研究の妥当性を評価し、研究者に進言した。
- 6. 自治体関係者と連携をとり、地方自治体の政策動向等につき、関係企業と情報共有の場を設定した。
- 7. 海外の地方自治体や産学官連携クラスター等地域レベルの連携を推進し、当該プロジェクトと海外の地方自治体や産学官クラスター間の研究開発動向に関する情報共有を行った。
- 8. 学内外の関係者の予定を調整し、訪問、又、会議等を開催することによりプロジェクトやコンソーシアムへの参加交渉を行った。
- 9. 学外関係者からの問い合わせに対応し、必要に応じて執行部の方針等の確認を行った。
- 10. 学外関係者との共同研究やプロジェクトへの参加に際して必要な NDA、MTA、協力協定等の契約事項、方針決定までのスケジュール、研究成果や知財が生じた場合の扱いと予算配分等の確認を行った。
- 11. プロジェクトの企画について、国、FA との調整を行った。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

- 1. 学内外の関係者間との折衝活動の結果、合意形成が進み、対応方針の共有が円滑に進み、調整業務が短縮された。
- 2. 多くの関係者が関与する企画が建設的に進み、申請の質が向上した。
- 3. 多数の企業や大学からなるコンソーシアムをベースとした大型プロジェクトを導入した。
- 4. 国や自治体と連携して、産学連携研究棟の設置に際して、共同事業として補助金を交付されることとなった。

④学内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

- 1. 関係者からの質問に対して適切な回答／助言を行った。
- 2. 自治体、企業等と連携・協働し、学外ネットワーク構築に貢献した。
- 3. 経営者協議会等地域産業会の委員会に委員として参加することを求められた。又はオブザーバーとして助言／提言を行った。
- 4. 学内の研究動向を把握し、蓄積してきた企業との信頼関係を基に、多くの産学連携企画をした。
- 5. 後輩(例:レベル初級・中級)に対する育成指導／助言を行った。

⑤その他

業務遂行能力指標

以下の条件の能力を有する。

①事業

- 1. 所属大学における自己の業務の位置づけを理解しており、関係者に説明できる。
- 2. 担当業務に関連する主要なプロジェクトの方針(ポリシー)を理解している。
- 3. 担当業務に関する課題を発見し、あるいは課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

②知識

- 1. 外部資金申請の枠組みの流れ、公募情報源、外部資金による事業の背景(科学技術政策、省庁・総合科学技術会議等の審議会・委員会情報等)を理解し、関係者に提示することができる。
- 2. 公募要領等に記載される外部資金に関わる遵守すべき法令(例:補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律(補助金適正化法)と関連する政令、省令等)、ガイドライン、学内規則、契約内容等を理解している。
- 3. 特定分野の専門知識を有し、研究プロジェクトに関わる科学技術を十分に理解している。又は、調査し、把握することができる。そして、関係者に説明することができる。
- 4. プロジェクトに関連する大学、研究コミュニティ、産業界、社会の動向を十分に理解している。又は、調査し、把握することができる。そして、関係者に説明することができる。
- 5. 研究の適正な実施に関する諸規定等(コンプライアンス、科学者・生命倫理、安全衛生、利益相反等)を理解している。
- 6. 研究成果に係る取り扱い事項(材料提供、秘密保持、知財保護、個人情報保護(匿名化)等)を理解している。
- 7. 学外研究者を受け入れる際のスキーム、規定、契約事項等を理解している。
- 8. 国や自治体の政策動向を理解している。

③実務

- 1. 企業との連携支援業務に関する実務(例:企業との組織的連携、産学官連携コンソーシアム、地域振興を含めた地域産業界との連携等)の高度に専門的な事項(例:実務全体の90%程度)を理解している。
- 2. 前記1.に関連する業務上の課題を発見し、その課題に対して多角的な視点で様々な解決策を提案することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。
- 3. 企業との交渉、調整等の状況に応じた最適な作業の進め方等を理解している。
- 4. 企業ごとに必要な情報を初級・中級 URA に指示して抽出・整理し、会議や打合せを効率良く進めることができる。
- 5. 相手方担当者の業務を理解し、両者の業務の位置づけ、重要性を共有できる。
- 6. 共同研究申請企業の評価・業績等について、見極めができる。
- 7. 全体のスケジュールと進捗状況を把握して内外関係者と共有し、期日内に業務を終わらせられるよう、内外関係者の協力を得ることができる。
- 8. 研究者、あるいは研究コミュニティとトラブルがあった場合、初級・中級 URA に指示して、主導的に対応することができる。

④語学

- 1. 産学連携に関する英文情報や関連する技術分野の論文を正しく迅速に理解することができる。
- 2. 各種問い合わせや連携交渉について、メールでやり取りができる。

⑤対人

- 1. 関係者(例:学内関係者、FA、企業)から円滑に情報収集ができる。
- 2. 関係者の説明(例:規則、実施計画等)を理解することができる。
- 3. 関係者の信頼を得て、連携し、協働できる。
- 4. 関係者(上司、部下、研究者)を納得させることができる。
- 5. 相手先(海外を含む)機関の文化や慣習等を理解し、対応することができる。
- 6. 関係者との間で円滑なコミュニケーションをとることができる。

⑥その他

- 複数の業務に適切な優先順位をつけ、限られた時間を有効に活用し業務を遂行できる。